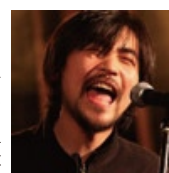


新月灯花新聞

第三号
発行日：6月28日
不定期発行
責任編集：新月灯花

三ヶ田圭三さん（いわきSONIC店長）



福島県いわき市のライブハウスSONICの店長。ローファイバンド、オークバンド、「あぶらすまし」で活動中。
<http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=aburashi>

いわき市での放射能問題についての個人個人の考え。日々ライブハウスを営業している中で会話として聞く事ができます。私を知る情報で最も確かなものとして、いわきに訪れる人たちが一番知りたがっている事なのでした。

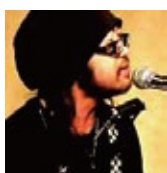
ライブハウスでは日々、ほかの土地で暮らす人といわきで暮らす人が会話し、必ずと言っていいほど次の何かが生まれていきます。もちろん答えは見つからないのですが、

これからの福島の問題を考える時、明るい見通しが見つからない今、私が唯一頼れるのはこの目の前で交わされている会話です。可能な限りいろいろな人と話し、確かな考えを手に入れなくてはなりません。

私は世間知らずです。是非、いろいろ教えて頂きたいです。私も知っていることを話します。できれば目の前で話したいです。なぜか直接話さないと言葉は響いてきません。

新月灯花はいきなりやってきて、会話からスタートしました。その会話は毎月いわきで続いています。最も正しいスタートから発生した関係は強靱でした。彼女達は関西にも行きます。もちろん直接話をする為でしょう。このイベントが確かな行動の上に成り立っているという事、原発問題に焦点を定めている事。とてもハッキリして、とても信頼できる事です。

マントさん（衰退憂鬱心）



福島で知り合ったミュージシャン。農業をやりながら音楽活動中。
<http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=suitaimania>

風評被害、実害、などありますが福島は生きてます。ありがちな頑張るうや、負けないとかの類のローガンには反吐が出る感もありますが福島で生きていきます！ってそんな内容の歌は一曲もないのですが。福島発アコースティックバルチャンぶっ放しに行きます。

秋吉久美子さん（女優）



女優。6歳から18歳までいわき市で育った。数々の主演女優賞を受賞している。
<http://akiyoshikumiko.jp/>

原発問題は人類の問題だと思っています。伝えるまでもなく、今の福島を見ればもう誰もがわかりきっているはず。子供達のことを考えて！それだけ！

鈴木薫さん（いわきアクションママの会）



福島県在住。「いわきアクション！ママの会」を立ち上げ、子供達を放射能から守るというテーマで活動中。いわき放射能市民測定室「たらちね」も開いている。
<http://www.iwaki-sokuteishitsu.com/>

放射能測定室「たらちね」で、毎日食品と身体への測定をしています。

福島県は原発事故があつて、放射性物質が沢山舞い散つていて、今みんなとても苦労しています。子供達を放射能から守ることが最大のテーマです。

清水敏保さん（祝島 島民の会代表）



祝島は瀬戸内海に浮かぶ、住民約500人の自然豊かな小さな島です。祝島の対岸4キロに上関原発建設計画が持ち上つて以来、島の住人は現在までの30年間、建設反対を唱え阻止してきました。祝島島民の会ブログ
<http://blog.shimabito.net/>

私も福島の事が気になって昨年5月に行つたんですがあの時は本当に悲惨で・・・今も変わっていない所もあるかと思えますし、本当に大変でしょうけど、被災地の原発開発計画もあの事故以来止まっています。

私達も再び原発が作られない様に、二度と福島での事故の様な事が起らない様に、原発建設計画に反対しています。

福島が一日も早く復興できるように応援したいと思っています。頑張ってください！

岡本直也さん（21歳・東京出身、祝島在住）



19歳の時、東京都中野区から祝島に住んで反対運動を続けている。

僕が福島の人達にできる事が何なのか、正直まだよくわからないところもあるんですけど、僕はこっちで上関原発を絶対建てさせない為に頑張つていくし、今後新しい原発を作らせない事が、福島の人達の為にも繋がるのかなと思つています。

庄野真代さん（歌手）



「飛んでイスタンブール」「モンテカルロで乾杯」など数々のヒット曲をリリース。現在はNPO法人「国境なき楽団」の理事を務め、チャリティコンサートにも積極的に参加している。
<http://park16.wakwak.com/~mavo/>

世の中には『本当の声』が届かない事って凄く多いです。『本当の声』っていうのは、もしかしたら小さい声かもしれないけど、その『小さい声』が聞こえる所にいる人が、同じように小さい声を出したら、『大きな声』になつて、遠くまで届いて行くんじゃないかなあつて思っています。

児玉洋介さん（埼玉県川口商工会議所会頭）



铸物の街・川口で創業94年となる児玉铸物の社長、商工会議所会頭でもあり、観光協会会長でもある。東電の企業電気料金値上げについて、引き上げ分の支払いを拒む不払い運動を開始。

私がなぜ、新月灯花に寄稿するかというと、私が東京電力の電気代値上げ反対キャンペーンを行つていたところ、その記事がフライデーに掲載され、それを山崎さんが見て僕の所にいらしてお話をしたところから始まりです。

今回の電気料金値上げの原因は福島第一原子力発電所の事故によるものであります。この原発事故の責任はどこにあるかここで検証させていただきます。

そもそも原子力発電は、国と電力業界が一体となつて進めてきた事業であります。国側の組織としては経済産業省内の原子力安全・保安院が中心となり、独立行政法人の原子力安全基盤機構が技術・検査等で連携をし、中立的立場で内閣府の原子力安全委員会が原子力の安全確保に関する企画・審査・決定を行つてきたわけです。原子力安全委員会が原発に関して電源喪失を考へなく、よいとしていたのが、事故の大きな原因であると考えられます。

ます。しかるに、現在は原発事故被害者への賠償金と、福島第一原発の廃炉費用を全て東京電力に持たせるスキームはおかしいと思えます。このままでいきますと、賠償金と廃炉費用は全て東京電力管内の消費者が負担しなければならなくなるわけです。賠償金と廃炉費用もこれまでふくらまるかもわかりません。社長就任予定の廣瀬直己常務も廃炉費用の負担額によっては東電一社では解決できないと言っています。国が負担するということは、当然税金を使うようになるわけですが、先ほども述べたように、原子力発電行政は、国が推進してきたわけですから、当然だと思えます。

それと、原子力事故調査委員会の報告が来月中には出るようなんです、そこで国の責任が明確になれば、東電に全ての責任を負わせるわけにはいかなくなると思います。原発事故調査委員会の報告が出たら判断すべきと考えます。

次に国と言いますが、現政府の東電に対する姿勢ですが、国の責任をのされるために、資本注入と融資を行つておりますが、これは東京電力を日本航空のようにいったん倒産させるべきと考えております。多くの国民がそのように考えているのではないのでしょうか。

新月灯花の襲いでみたいのコーナー

原発事故以来、本当にたくさんの人と出会いました。自分達で直接話を聞く重要さに改めて気が付きました。今まで私が、いかにいかにげんごコミュニケーションをしてきたか思い知らされた一年と四ヶ月でした。出会つたすべての人に感謝！（新月灯花 山岸佑季子）



三ヶ田さんは、唯一頼れるのは目の前で交わされる会話だと言っていました。ほんとにその通り！共感します！



いわき駅前路上ライブをやって知り合った女子高生だよ！またやるから見に来てね～



庄野さんは、音楽が人と人々を結びつけるに言っていました。まさにその通りだと痛感しています。



児玉さんは、一見硬いイメージですが気さくでダンディーな人でした。ライブも見に来てくれました！



なめるな東電！川口市の4/6発売の週刊FRIDAYの記事